

# 日本大學幼稚園に於ける口腔衛生の現況(二)

日本大學齒科ドクトル 水間盛三郎

## 六、幼稚園のエレベーター

漸く親しみ、顔なじみとなり、手洗も出来、齒刷牙子に依る口腔清掃も行はれ、治療に對し多少興味を感ずるならんと思考するも或一部の園児は未成年齡僅かに四歳乃至五歳の者あり、一般的に齒科學的處置を施すに多少の困難ある可ければ之に對し一段の入念の意に於て或一日を犠牲に供し園兒全員を一回宛「エレベーター」に乗せたり、先づ五人乃至六人齒科治療椅子の附近に順番に並立させ、先づ其希望者の一人を選みて椅子上に昇せ治療椅子を上昇せしめ「それ一階に上つたてしよ

う」これは三越のエレベーターよ。」何を買ひに行きませうね、何にしませうねお帽子キヤラメル？  
お玩具？ お靴？ お帽子は五階よ、それぢや—  
五階に行きませう」と椅子を上昇せしめ、「どのお帽子が愨しいの？ 之は拾圓よ」と言つてお金を頂戴と手を出せば左手を擴げ右手にて左手よりつまむ眞似をしてお金を渡す様な手附をする、で術者はあつりよと言つて園兒の手に渡す眞似をする、斯くして今度は六階でお汁粉を食べませう等と言ひ、更に一二回足を踏みて上昇せしめ、前述と相似たる方法を施して今度は降りませう、此處は地下室の御出口です、毎度有難ふ御座います、



等々の言葉を勞うて其氣分ならしめて、次の者を  
 變らしめ、今度は多少變りたる方法にて之に接し  
 順次後を追はしめたり。園兒にては今度は私しの

目の治療に際しても之が必要と認めたる兒童に  
 は毎回之を適用し一層の親しみを得可くなした  
 り。

番だくと先を争ふ有様にて間には二回も之を要求する者數多出て來る有様なりき、以て治療椅子に對する親しみを増す可く勉め、更に次回同一方法を以てし殆んど全員に之を施したり、此のエレベーターを行つて以來治療椅子上に乗るをエレベーターに乗る如き氣持にて別に不快や恐怖の念は全くなしに容易に椅子上の人となすを得たり、如斯くして齒科治療に對する準備を着々進め、以て恐怖の念なからしむ可く勉めたり。勿論愈よ治療を始めし時も二回目、三回

## 七、兒童の分類

園兒は最低四歳より七歳に至る兒童に限られ居るが故に、殆んど乳齒齲蝕の全盛期に在り、之を年齢的に分類するの要は全くなきも吾人齒科學的立場よりして齒科的治療の經驗より分類する時は次の三種に別つを得。

- 1、齒科的治療に對する經驗の全くなき者
- 2、齒科的治療を受けしも治療時一回も疼痛の經驗を持たざる者
- 3、齒科的治療を受け而も治術的疼痛の經驗を

有し著しき恐怖の念を持てる者

之なり、此の分類に従ふ時は最も簡易に其何れに屬するやを知るを得可く、以て治療に際し幾多の手法減や治術上の參考（例へば器械の種類に依りて著しく嫌惡するものあり、グレンザー、エンデン等の如し）となる事多し。



## 八、治術に對しての注意

治術を行はんとするに際し注意す可き數項あり  
 參考迄に押入せり。

(イ) 話題 話題は最も注意す可きもの、一に屬す、例へば四五歳の兒童なる時は、其頃の兒童の常に見聞せる題材を用ひて可及的短時間中に之を次から次へと轉換せしむ、即ち今三越のお話をして次には劍戟の話し、次はお汁粉のお話し、或は雑煮等殆んど三四十秒乃至一分間に之を轉換して注意を引かしむ可く勉む、『タイ焼』のお話しも、おみかんのお話しも結構なり、何れも極めて短篇なるを要するや論なし、然し六七歳の兒童は四五歳の者より多少の加減を試むるを要する、殊に學齡前のものには多少の理屈じみたるものを交互せしむるも可ならん、或は寧ろ動物園博覽會等の話題を用ふるも可なり。

(ロ) 器械 先づミラーとピンセット及び綿花球を用ふるを最初試みざる可らず、始めより銳利なる器械を用ふるを謹しみ、先づ綿球にて歯牙表面を拭去し無痛的なる信用を博するを要す、次でエキスカパーター又はエクスプロラー等を用ふるを得るも、之亦最初珐瑯質面を擦過して『お掃除をした、さあウガイをして!』と含嗽せしめ次に尖銳なる小さきエキスカパーターを用ひて軽く之を使い軟化象牙質の除去に就く、軟化象牙質勿論出來得可くば多少共乾燥せる時は操作容易なる可し、とは雖も時々洗滌含嗽等に依りても兒童の思索を轉換するを要する、其都度窩洞を綿花にて拭去し唾液の貯留を防ぐを要する。

(ハ) 藥品 藥物の貼布に際し綿花に浸せる藥物の過量なる時之が窩洞より滲出し不快味乃至シ辛辣なる爲め泣出す事あり、或は綿球に藥物を浸す時ピンセット等に附着したる藥物の兒童の口唇

等に附着し、或は舌等に藥物を貼けて兒童の號泣する事あれば、之に對し充分の注意を要す。更に窩洞内に藥物を貼布し「ストツピング」等にて封塞する後咬合壓に依りて藥物の浸出の爲め齒科治療を嫌惡するの傾あれば注意を要す。

(二) 操作 窩洞を直視せんが爲め口角を強く索引し、或は舌に強壓を加へる如きは謹しむ可き事に屬す、或は防濕用綿圓嚙等の餘りに大なるを挿入する時は、治術野の視野を防げるは勿論、患者は著しく口中の自由を失ひたるの感にて不快を訴へるに至る可し、特に注意す可きは氣銃の使用である。酒精燈又は瓦斯火焰を用ふるなれば一種の恐怖を感じ夫のみにて泣出す事あれば豫め熱くなき事を豫想せしむ、決して熱くないと言はずに熱くなき様子をなす、例へば指尖を火焰の熱くなき場所にかざして後無言の儘次の操作を成す如し、然る後充分なる注意の許に氣銃を使用するを

要するを要す、ストツピング適用に際しても同様の注意を要するや論なし、夫等の操作は殊に幼年兒童に對しては可及的迅速ならざる可らざるものとす、齒科用エンチンの使用に際しては決して疼痛を與へざる可く、殊に幼稚園等にて使用する時は別段の注意を要す。之に依りて一度たり共疼痛あらば深き印象となりて残り回復するに極めて困難なるは吾人の常に經驗せられし處ならん、齒科用エンチンの使用に於て兒童が治療の無經驗者なる時は、最初珫瑯質面に適用し知らぬ顔にて一回含嗽せしめ次に再び適用し皆んなは之を喜んで使はせるよ、「ブカ〜ガチャ〜ガラ〜」言つて面白いだらう」等の言を以てし、或は其時は歌等を用ひて之をマギラスを要する事あり。

(ホ) 治療及充填 多數の至急に處置を要する齒牙の存しても、最初は以上の諸點に注意し第一回は口腔清掃を以てせり、次で第二回に及んで先

づ治療を始め、軽度齲蝕の充填第三第四と回を重ねるに於て漸く多少共齒科的治療に患者の理解するに及んで、急を要する抜歯に取掛るも普通治療充填の處置の全部修了せる後抜歯を遂行するを法とせり。

### 九、活動寫真會

活動寫真會は、之をライオン齒磨口腔衛生部に囑託して行へり、何にしる最初の試みなりし爲め黒カーテン、草履には數日を費せり、入場券はライオン齒磨口腔衛生部にて美麗なる色刷にて送附されし故大に助かりたり。

入場券の配布區域は第一に園兒及家族、知己に之を配布し、近在の小學校に對しては訓導の監督の許に團體入場にせり、講師兼映畫説明は同部の佐藤昌朝氏慣れた流暢な明るい親切な説明であつた、入場者約六百を算し、場外運動場等に溢れ居

りし有様なり、之に依て園兒及び小學兒童に非常に深き印象を與へ、現在にても時折其事を口にする兒童あるを見る、齒に關する活動寫真會は一ヶ年一回宛位は何れの學園又は小學校にても催して宣傳し印象附けるなれば齒牙に關する知識や口腔衛生の必要が最も早く徹底する事と思ふ。

### 十、齒刷牙日記

ライオン齒磨口腔衛生部の考案に成る用紙を用ひて、齒刷牙日記を實行せしめつゝあり、何しろ園兒が年少なる故に唯持歸らせるのみにては無駄となるを恐れ左の意の文を附して保護者に送附せり、  
 △兒童のなしたる朝夕の口腔清掃を必ず記入して頂く事、記入は懸引なく正直にして頂く事、實行されし時は必ず○印、然らざる時は△、決して強制的ならざる事、等にて昭和三年十二月朔日より實行して頂く様通告せり。

其成績を見るに全體として殆んど満點に近く或

者の如きは朝晝夜毎日三回一ヶ月に僅々三個の△を發見せるの状態なり、其保護者に質問せるに現在にては殆んど習慣性となれ共、時折忘却して寢に就ける時、今晚は齒刷牙日記は△かい？と言へば寢い眼を擦り／＼起きて清掃するの状態にて時として疲勞せる時は可愛想なりと思ふ時ありたりと。

## 十一、ポスター

園内に種々の齒牙又は口腔清掃に關するポスターを掲示するは誠に良い方法の一なれ共、同一ポスターを長期間而も同一場所に掲げたるのみにては眼に慣れて殆んど感じなくなるの恐れあれば、週日又は拾日位に一回宛の割合に取替へ、掲示する數も普通幼稚園にて二枚位最も適當ならんと思ふ者である。左に一二のポスターを參考迄に掲げ

たり。

## 十二、第一回定期口腔診査成績

第一回定期口腔診査を昨年五月に舉行したり、然れ共年少なる園兒の或者は診査を嫌惡して口を開かざるのみか、別室の机の下に隠れて出て來らざるの状態にて、全員悉く之を實行するを得ざりき。診査を拒し數名の者も三四ヶ月過ぎし九月には結構診査を成さしむるに至りたる事は、一は顔なじみになりて慣れたると他の者の治療を成すを拾數回も見聞して多少共恐怖の念の去りて、寧ろ却て羨望の念さへ浮ぶに至りし結果ならんと信ず。

口腔診査成績を見るに八十八%の齲蝕罹患者を示し、四十五・六%の齲蝕罹患齒數を示せり、之に反して六歳臼齒を見るに其一五、一%の罹患齒を發見せるのみなり、而も其程度第二度を越へたる

者は僅々數本に過ぎず、之れ恐らくは、(イ)、第一大臼齒が乳齒の位置を繼承せざる事、(ロ)、出齦後間もなき事、(ハ)、第二乳臼齒のデンチュアに於て最後に位し其遠心隣接面が比較的他の部より清潔に保たれ易き事、其他の理由に依るもの非らざるなきか？

乳前齒に於ては齶蝕罹患殆んど同様隣接面より起りて大破せられたるあり、殆んど侵されざるあり、殆んど侵され居らざるものに在りては、毎常年齢相當各齒間の空隙相當なるを知れり、勿論大破せられたる者たり共綜合するに相當の離開の存するあり、概して上顎前齒の罹患せるもの下顎より多數であり、且進行せるを見たり。臼齒に於ては上顎とり下顎第一及び第二乳臼齒最も多く侵され、進行の程度も著しきを知るを得たり。

### 十三、治療成績

昨年六月初旬より毎週一回宛午前中を利用して昨年十二月末迄の治療成績次の如し。

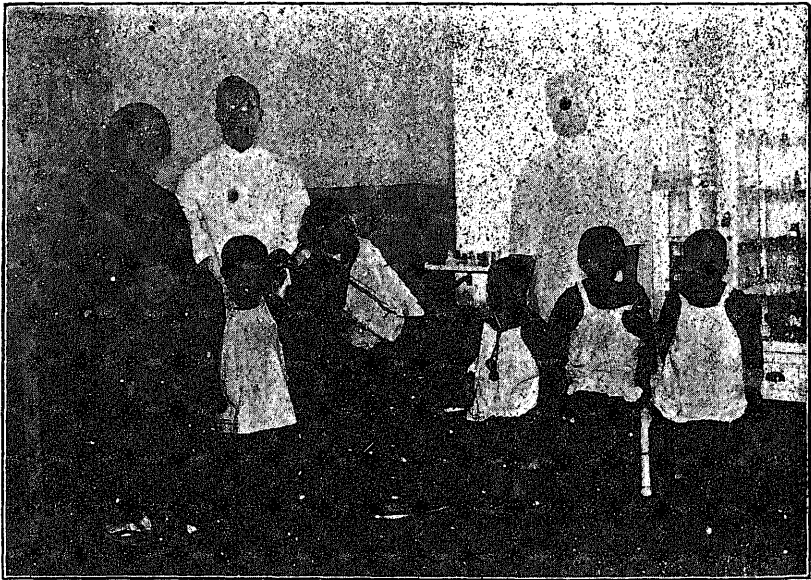
|     |          |     |
|-----|----------|-----|
| (イ) | 口腔清掃     | 三一人 |
| (ロ) | 豫防的處置    | 六齒  |
| (ハ) | 治療       | 九二齒 |
| (ニ) | 覆罩       | 五齒  |
| (ホ) | ゴム充填     | 三八齒 |
| (ヘ) | セメント充填   | 四一齒 |
| (ト) | 銀充填      | 八齒  |
| (チ) | 抜齒(乳齒のみ) | 七齒  |

以上

### 十四、現在の狀態

治療日に幼稚園の門を入れれば必ずや二三の園児に出逢ふ、或者は曰く「先生今日は齒を抜いてよ！」と注文するあり、時には「齒の先生が来た！」  
「水間先生が来た」と全員に振れ廻す者あり。亦或





時は「先生今日金を詰めてよ」とせがむ者もあり治療室に入りて更衣中等に年少の園児入り来りて「あたし齒を磨いたのよ、昨日も、その前も磨いたのよ」と報告するあり、二三の兒童は「今日は僕が先だよ」と既に椅子に乗りて待てるあり、現在にては全く以前話したりし「桃太郎さんのしくじり」等のお話を忘れて、僕の顔を見れば直ちに齒の事のみを聯想して、何か文句を並べ立てる状態である。

勿論治療に際しても誰夫さんと呼べば何の苦も無く来りて椅子に乗りて口を開けて待つ迄に容易に處置を施し得るに至れり、齒科用エンデンも使へば注射抜齒も施して不平の來りし事殆んどなし、唯茲に特に骨の折れるは新入園児に對しては注意に注意し漸進的に進行す可くせざれば失敗するの恐れあれば、之に對し特に術者は神經過敏となり居れり。

總括

- 一、幼稚園に於て齒科的處置を施すには一週一度乃至二度にて適宜手廻しせば充分なりと信ず。
- 二、最初の二ヶ月位は出來得る限り所謂前準備に最善の努力を成し深く印象附けるに苦心せざる可らず。
- 三、幼稚園の母の會又は保護者會には必ず出席して其父兄に對し充分なる口腔衛生の必要と理解を得可く努力す可き事亦肝要なり。
- 四、齒刷子に依る口腔清掃を特に鼓吹するは最も普遍的に最も容易に且有効に、無痛的に寧ろ興味を持ちて成し得可ければなり。
- 五、顔なじみとなり、親しき友であり、良き先生である可く、凡てに細心の注意を要するや論なし、最も記憶力、想像力、人真似の優れたる時代の者の集りなればなり。
- 六、治療に際し最初無痛の仕事より始むるは兒童の信用ヲ博するに於て肝要なり。
- 七、操作、言動等に於て決して粗暴なる可らずとなす。
- 八、活動寫真會は少く共年一回之を試みるを要するものと信ず。
- 九、齒刷子日記亦利用して良成績ヲ博し得るのみならず、兒童をして習慣性となさしむる點に於て最も意義あるものの一と信ず。
- 十、口腔状態と體重、身長等との比較は今後細心の注意の許に研究して最も價值あるものと信ず勿論全身的他の状態にも注意を要するや論なし例へば廻蟲の存否等の如き之なり。